

**製品名: IL1RAPL1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81646**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	80kDa

**抗原情報**

遺伝子名	IL1RAPL1
別名	IL1R8; MRX10; MRX21; MRX34; OPHN4; IL1RAPL; TIGIRR-2
遺伝子 ID	11141.0
SwissProt ID	Q9NZN1
免疫原	大腸菌で発現したヒト IL1RAPL1 (AA: 541-694) の精製された組み換え断片。

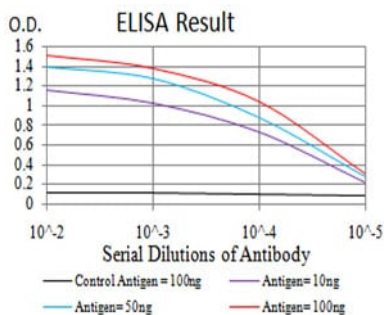
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターロイキン-1 受容体ファミリーの一員であり、インターロイキン-1 アクセサリータンパク質に類似しています。最も近縁なのは、インターロイキン-1 受容体アクセサリータンパク質様 2 (IL1RAPL2) です。こ

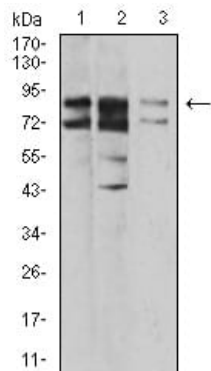
の遺伝子と IL1RAPL2 は、X連鎖性非症候性精神遅滞に関連する X染色体領域に位置しています。精神遅滞患者において、この遺伝子の欠失および変異が認められています。この遺伝子は、海馬記憶系に関する出生後の脳構造において高レベルで発現しており、これは記憶および学習能力の基礎となる生理学的プロセスにおいて特別な役割を果たしていることを示唆しています。

## 研究分野

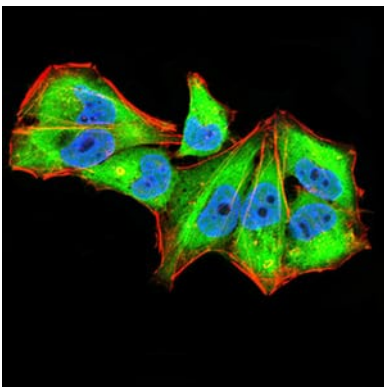
## 画像データ



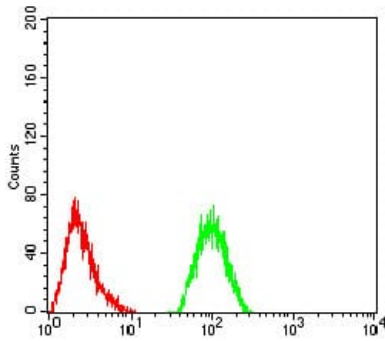
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



IL1RAPL1 マウス mAb を用いた A431 (1) 、SK-Hep-1 (2) 、HL-7702 (3) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



IL1RAPL1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



IL1RAPL1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。